

＜地場産農産物の加工・販売に取り組む事例＞

〇活気ある集落の継続を目指して

1. 集落協定の概要

市町村・協定名	熊本県天草市河浦町河浦 河浦立原 あまくさしかわうらまちかわうら かわうらちはら			
協 定 面 積 26.4ha	田 (93%) 水稻等	畑 (7%) 果樹等	草地	採草放牧地
交 付 金 額 417万円	個人配分			50%
	共同取組活動 (50%)	役員報酬、会議費等		5%
		直販所・加工所の運営、アジサイの里作り等		10%
		水路・農道・農地等維持管理活動（共同活動）経費等		35%
協 定 参 加 者	農業者 48人			開始：平成12年度

2. 取組に至る経緯

河浦立原集落は天草下島の中南部に位置しており、温暖な気候を活かした農業が行われてきたが、地形は急峻で平野部が少なく、以前から高齢化や後継者不足による耕作放棄の発生や増加が懸念されていた。

このため、平成12年度から中山間地域等直接支払制度に取り組み、集落内の水路・農道・農地等の管理活動のほか、アジサイの作付による景観形成の取組等を行ってきた。

2期対策では新たに直販所・加工所の設置を行い、現在も順調に売上を伸ばしてきた。

3期対策の開始に当たり、集落及び地区の関係者全員で会議を開催し、今後も本制度を活用して集落内の農地や施設の管理を行い、活気のある集落の継続を目指すこととなった。

3. 取組の内容

高齢化や後継者不足による耕作放棄の発生や増加が懸念されていたため、集落内の後継者や若手を中心に集落内作業班を設置し、集落及び地区全体の農地の保全を行っていくこととした。景観形成として制度開始以前から取り組んできた「アジサイの里作り」を継続するとともに、平成18年度に本制度を活用して設置した直販所については、現在、町内だけでなく町外からの出品者もあり、集落の中心的な施設となっているところであり、年間売上1,000万円を目指し今後も活動を行っていくこととしている。



【直販所】



【共同活動（草刈作業）】

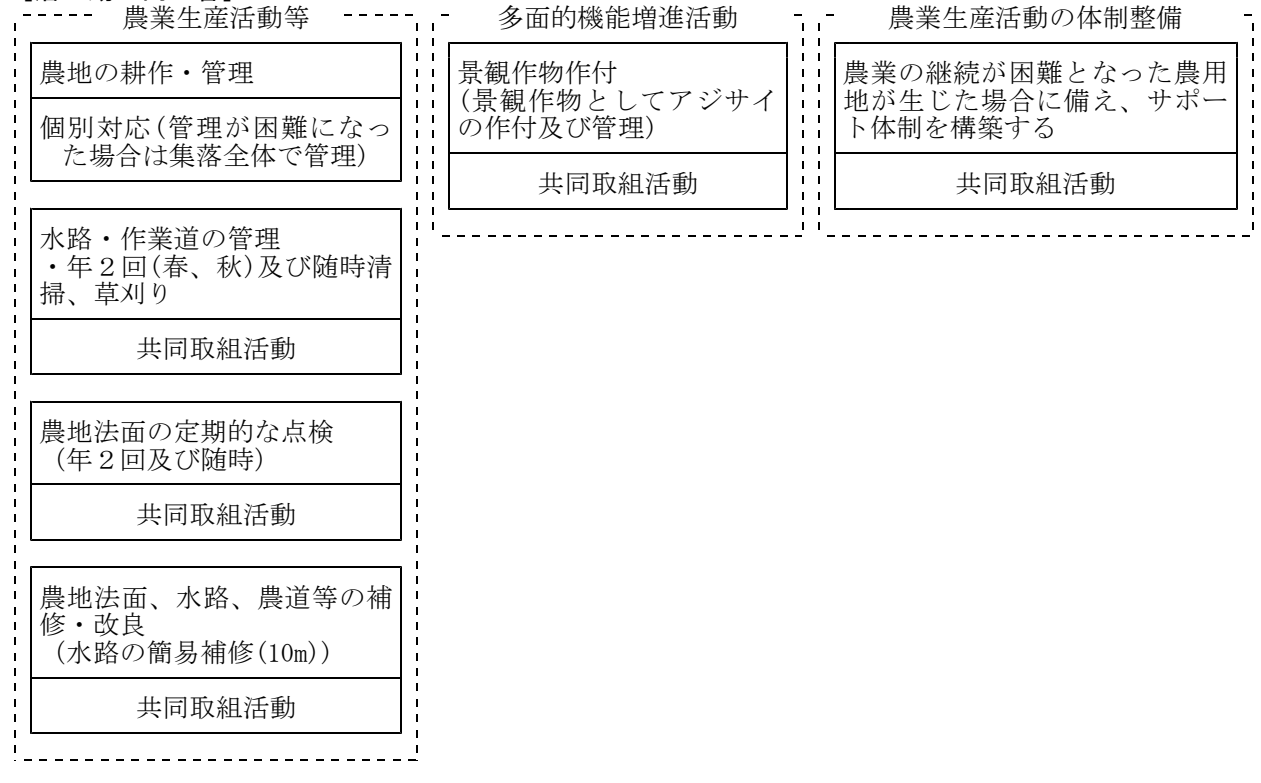
【集落の将来像】

- 集落内作業班を設置し集落内で管理が困難となった農地が発生した場合に、集落全体でサポートを行う体制を整備する。また、2期対策で設置した直販所・加工所を今後も有効的に活用していく。

【将来像を実現するための活動目標】

- 集落内作業班の設置及び、直販所の年間売上1,000万円を目指し運営を行う。また、アジサイの里造りを継続して行う。

【活動内容】



集落外との連携

- 集落内の農家に農作業委託等ができない場合には、集落外の農家との連携を図り、農作業委託等を推進する。

4. 今後の課題等

制度開始から11年が経過しており、当初から比べ集落構成員の高齢化や担い手の不足が進んでいる。このままでは集落の営農活動や集落活動にも限界が生じてくるため、現在集落内にいる担い手や若手で農地や施設の管理を行える体制整備を今後とも進めていく必要がある。

【第2期対策の主な成果】

- 直販所・加工所の設置・運営 (H17:0箇所、0円、H21実績:1箇所、年間売上800万円)
- 非農家との連携(H17:0人、H21年実績:8人)